

水稻の斑点米カメムシ類の防除を徹底しましょう

県内における水稻の品質低下（等級落ち）の主な原因として、乳白米や黒点米など障害粒の発生とカメムシ類による斑点米の混入などです。これらはいずれも高温の年に、発生しやすい傾向で、温暖化傾向の近年では、毎年注意が必要です。

県病害虫防除所の調査（令和4年2月25日発表の病害虫発生予報3月号：防除所レポートより）によると、近年の本県における斑点米カメムシの主要種は大型のイネカメムシやクモヘリカメムシで、令和3年8月上旬のすくい取り虫数では、県内の75%がイネカメムシとなって、県北地域でクモヘリカメムシが優占種である以外は県南、県西、鹿行、県央でイネカメムシが優占種でした。その他、小型のアカスジカスミカメは鹿行地域で多かったと報告しています。

イネカメムシは1950年代までは茨城県で斑点米の主要種でしたが、その後は急激に減少していました。しかし、2010年代頃から再び発生の増加傾向がみられ、近年は急激な増加となっています。このため、その生態など不明な点が多く、防除体系の構築が急がれています。国内では、本県など東関東、東海や関西、中国地方の一部などで問題化しています。このため、関係各県の研究成果を参考にすると、従来の斑点米カメムシに比べ、本田への侵入がやや早く、出穂後から加害が始まって不稔による減収が大きくなります。本田に侵入後、直ちに産卵し、成虫やふ化した幼虫が斑点米を発生させます。

水稻の出穂予測時期は、農業研究所の「農研速報」によると、「あきたこまち」では水田利用研究室（龍ヶ崎市：6月27日調査）で平年より5日遅い7月16日頃、作物研究室（水戸市：6月30日調査）で4日遅い7月19日頃となっています。また、「コシヒカリ」では前者が平年並の7月23日頃、後者が平年より1日遅い7月27日頃となっています。

斑点米カメムシ類の防除適期は、イネの出穂時期が重要ですので、圃場の出穂状況をよく確認して、下記の防除適期に薬剤防除を必ず実施してください。なお、水田内でのカメムシ類の生息を確認する場合は、日中の高温時は避け、夕方～早朝など涼しい時間帯に水稻の穂や株の中などを注意深く観察してください。

<薬剤の防除対策>

1. 本田に侵入したカメムシ類を対象とした防除時期は、出穂期～穂揃期です。なお、イネカメムシが主体の多発圃場では不稔等による減収を防止するため、出穂期前後にイネカメムシが確認されたら直ちに薬剤防除を行います。

2. 斑点米の被害軽減を目的とした防除適期は、乳熟期（穂が出始めてから10～15日後頃）です。なお、イネカメムシが主体の圃場ではやや早く、乳熟初期（出穂10日頃）から薬剤防除を行います。

発生量の多い地域では、出穂期～穂揃期と乳熟期の2回の薬剤防除が必要になります。なお、その後はカメムシ類の発生を観察しながら、必要に応じて追加防除を行きましょう。

3. 出穂が周辺よりも早い水田、ヒエ等の雑草が多発している水田では、飛来虫が集中しやすい傾向があります。また、出穂の遅い水田では、周辺の水田で増殖した新成虫が侵入してくることがあります。特に、イネカメムシでは集中加害して、不稔による減収や斑点米が多発生しやすいので、これらの水田では特に十分な注意が必要です。

4. 防除を行う際は、収穫前日数などの農薬使用基準に十分に注意してください。また、周辺に収穫期に近い圃場のある場合は、農薬の飛散（ドリフト）に十分注意して薬剤を選定してください。なお、ミツバチへの被害を軽減するため、ミツバチの活動が盛んな時間帯（午前8時～12時まで）を避け、可能な限り、早朝または夕刻に実施してください。

表1 水稻 カメムシ類の主な防除薬剤 (令和4年7月7日現在)

薬剤名	希釈倍数	使用時期 / 使用回数	分類
スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	4A
キラップフロアブル	1,000～2,000倍	収穫14日前まで / 2回以内	2B
エクシードフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	4C
スミチオン乳剤	1,000倍	収穫21日前まで / 2回以内	1B

注) 1. 専用の少量散布用ノズルを装着した乗用型の地上液剤散布機器を用いる場合や、無人航空機を使用する場合には、それぞれの農薬使用基準を遵守して使用してください。

2. イネカメムシやクモヘリカメムシなど大型カメムシ類が主体の圃場では、散布剤での防除効果が高いです。

3. 分類欄には、IRACコードを記載しました。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 NEWS は JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。